

□議員名：吉永 美子

1 動物愛護について

論点	昨年9月議会で、「ガイドラインを作成し、避妊・去勢の助成制度は協議事項となる」との答弁を踏まえ、取組状況と今後の予定を聞く。
回答	ガイドラインについては現在、作成作業中である。作成検討委員会を立ち上げることも模索していること及びガイドラインの作成時に猫の不妊・去勢の助成金も協議事項の一つとなり得ることに言及していたが、猫の不妊・去勢の助成金については、引き続き検討することとした。

論点	ガイドラインはTNR活動や地域猫活動、市民や市など、それぞれの立場からの関わり方など具体的な取組を示した内容となるのか。
回答	地域猫活動などについても言及するという案は持っている。これについては、今からいろいろと精査する中で、何を挙げて、何を挙げないといったところを正確に作成する段階に入ると思う。

論点	今年7月、念願の動物愛護団体が結成され、その団体から「飼い主のいない猫の不妊・去勢の手術費に対する支援補助制度の創設を求める請願書」が市議会に提出された。予備費を使ってでも、助成制度を創設するべき時に来たのではないか。
回答	その団体が江汐公園において地域猫活動に係るイベントを開催されるということで、市も後援をしている。助成金については、当該団体の活動を念頭に置きながら検討していきたい。

2 防災について

論点	7月18日から19日の大雨災害で被害を受けた市民に対して、きめ細かな対応ができたのか聞く。
回答	罹災証明書の発行において、市役所まで来られることが難しい方については、山陽総合事務所での罹災証明書の申請の受付、現地に確認に行った折に罹災証明書の交付をするなど、被災者に寄り添った対応を行っている。

論点	「火災により被災された皆様へ」となっていた書類を火災以外にも使えるよう改善を提案し実行してもらったが、どう活用していくか。
回答	この度は、議員の提案により、火災に特化していたものを全ての災害に対応できるような内容に変更した。今後は、これを活用していく中で、不都合があれば改善を随時進めていきたい。

論点	次に起こり得る災害に向けて、防災・減災のための取組をどう進めているのか。
回答	災害状況に応じて水防本部体制・災害対策本部体制に移行した場合には、その会議においても各部署から報告を行うほか、状況が落ち着いた段階で被災状況を取りまとめ、庁内で情報共有を図っている。今後も必要に応じて振り返りを行っていくことを考えている。

論点	県とも連携が必要であるが、総務部と福祉部、また市民部、建設部、必要なときには市民病院、水道局との連携体制はきちんとできているか。
回答	水防本部体制の下に災害の情報をまとめる警戒体制調整会議も持っているので、その中で随時情報共有している。庁外については、今後も検証をいろいろなところでやり、必要な情報があれば共有していきたいと考えている。

論点	個別避難計画の策定について、国は優先度の高い方には令和3年度からおおむね5年程度で作成に取り組むよう市町村に依頼しているが、策定は進んでいるか。
回答	平成22年3月に災害時要援護者支援マニュアルを策定し、民生委員の協力の下、要援護者支援プランを作成してきた。今年度、マニュアルの見直しを行い、より実効性のある個別避難計画の作成に向けて関係する部署や団体と連携しながら進めていきたい。

論点	ペット同行避難について、取組状況を聞く。
回答	昨年12月に須恵東自治会と山口県、県獣医師会、市との共催でペ

	<p>ットとの同行避難訓練を実施し、地域の方がペットと一緒に避難訓練に参加している。こうした訓練の状況なども踏まえ、今後も庁内外と連携しながらペットの同行避難についての情報発信など啓発に努めていきたい。</p>
--	---

3 ガラス文化の推進について

論点	<p>日頃から市民により多くガラス文化を発信するため、公共施設におけるガラスの取組の評価と今後の予定を聞く。</p>
回答	<p>ガラス文化の推進については、第二次総合計画の重点政策の一つである「まちの価値を創る」に具体的政策を掲げており、本市の特性を生かす事業であるとともに、まちの価値を高める効果的な事業であると考えている。公共施設においては、施設新設等の際にその施設の目的等を鑑みて、ガラスアートを取り入れた整備の可否を検討している。広く市民の目に触れる機会の多い市民病院、斎場、ねたろう保育園の建設の際にはガラスアートを取り入れた整備を行っている。今後もガラスアートのまちとしての認知度向上を目指し、引き続き取組を推進していく。</p>

論点	<p>今後建設される「日の出保育園」での取組予定を聞く。</p>
回答	<p>ねたろう保育園には、ガラス造形作家と子供たちの共同により、スマイル・朝日をイメージする大きなガラス絵画を設置した。これから設計に入る日の出保育園の新築についても、何らかの形で子供たちがガラス文化に親しめる取組について協議していきたい。</p>

4 糸根公園の整備について

論点	<p>6月議会での答弁を踏まえて、今後の予定を聞く。</p>
回答	<p>今年度は基本計画を策定する予定としており、その策定業務をプロポーザル方式により発注し、8月に請負業者が決定した。今後は、市民アンケートやワークショップなどを通じて、市民や事業者など様々な方の意見を伺いながら、基本コンセプトとなる施設等の配置計画案を決定する基本計画を今年度中に策定する。天文館の存在を</p>

<p>後世にとどめてほしいとの議員の要望については、資料室や資料コーナーのような形で検討していきたい。</p>
